

第 10 回 SC サテライト放送株式会社 番組審議委員会 議事録

1. 開催日時： 2021 年 1 月 15 日（金）13 時 00 分 ～ 14 時 00 分

2. 開催場所： ショップチャンネル本社ビル、および ZOOM

3. 審議委員出席者：

委員総数 6 名

出席委員の氏名 音好宏氏（委員長）・入江たのし氏・五井千鶴子氏・棚橋節子氏
桧山珠美氏・細川幸一氏

4. 事業者側出席者：

SC サテライト放送株式会社

代表取締役社長 佐々木 良太

取締役 上原 宏一

取締役 星野 友昭

日本テレビ放送網株式会社

事業局有料放送事業部 担当副部長 八田 元彦

報道局 サイバー戦略部

「日テレNEWS 24」プロデューサー 小倉 宏

ジュピターショップチャンネル株式会社

プランニング&プログラミング本部 プログラミング部長 宇都宮貴吉

5. 番組審議：

SC サテライト放送株式会社で放送するチャンネルの審議

① 「ショップチャンネル 4K」(BS11ch)、

「ショップチャンネル」(055c)

審議番組：佐々木いちおし フードアナリスト大崎さんとお届けする厳選フード

放送日時：2020 年 11 月 3 日（火） 19：00 ～ 20：00

● 審議委員意見

- キャストの他に、フードアナリストであるゲストの方が出演している点が、非常にアクセントが効いていると感じた。全体をとおしてさらっと見れ、非常に心地よい時間だった。
- コロナ禍のなか、ショップチャンネルのような業態は強いと感じた。コロナ禍で自宅で食事をする機会が多くなっている中、食品の売上は伸びているのか。
- 個包装は確かにコロナもあり便利だとは思いますが、一方で、食べ終わったときのプラスチックの量は相当なものになると思う。現在、SDGs の取り組みが進んでいる中で、社会的責任からすると個包装は減らすべき、あるいは紙製品にするとといった配慮をすべきだと思ったがどうか。
- プルーンに関し、(コロナ禍で)旅行に行きたくても行けない中、(原産地である)フ

ランスのアジャンの景色が素晴らしく投影されていて、いつか行ってみたいなという
ような気持ちにさせられ、ほっとできるいい映像だったなと思った。

- プルーンは封を開けると中身が乾燥してしまうため、個包装というのは品質維持のために良く、またコロナ禍の中でちょっとしたプレゼントにも使えるな、と思った。
- かりんとうに関し、2種類のうち落花生のついているかりんとうについて、表示がよく見えなかったが、落花生の原産地表示がどうなっているのかなと思った。いなりずしでは原産地の紹介をしていたので、かりんとうに使われている落花生の原産地を知ることができたらよかったなと思っている。
- 17袋という肉詰めいなりが紹介されていたが、17袋は結構量が多く、冷凍庫がいっぱいになってしまうと思った。今は一人暮らしの方も多いので、もう少しセット内容の容量を少なくするという考えもあるのではと思った。
- 個包装に関して、かりんとうの個包装は1個ずつだが、プルーンの個包装は7個か8個が一袋に入っているということで、個包装の概念が違った。プルーンも1個ずつで包装されていれば、手が汚れないしよいのにな、と思った。
- キャストとフードアナリストのゲストの二人の話し方が非常にハイテンションなのが気になった。同じトーンだったので、構成的に少し対比があった方がよいのではと感じた。
- かりんとうに関して、最初は3,980円という価格は高いという率直な感想を抱いたが、番組後半で、ざるの上に載せる形でかりんとうの分量を映像で示しており、分量の部分を早めに出した方がより効果的だったのではと感じた。
- （番組内で紹介された）4種の商品がかなりバラバラ感があるが、4種の商品を統一するようなものを出して、一つにまとまるようなコンセプトにすればもっとよかったのではないかな。
- キャストのキャラクター・特長が強く出ている番組だったと思う。キャストとゲストのお二人が出ているのに意味があるのだと思うが、お二人の差をもう少し強めにした方がより番組が画期的になるのではと感じた。
- 商品自体、興味深く、特にプルーンをクリームチーズにつけたりと、ただ商品を紹介するだけでなく、具体的な食べ方について紹介しているのは良いなと思った。

●事業者発言

- この日は、”キャストいちおしデイ”と題し、ショップチャンネルの商品を知り尽くしたキャストが、半年かけて準備しイチオシの商品を紹介する一日であった。このイベントは年2回、ショップチャンネルの創業月である11月と、年度末の3月にそれぞれ行っている。
- コロナ禍で、弊社の中でも食品はお客様のご支持をいただき好調に推移している。

- 商品ごとに原産地について強い訴求がある場合は地域を絞って原産地を表示するが、それ以外はしておらず、国内という表記をしている。
- 個包装については、お客様の利便性と環境に対する配慮のバランスだと考えており、かりんとうに限らず配送の箱など、全社の取組みとして考えていかなければならないであろう。

② 「日テレNEWS24」(349ch)

審議番組： 「Late Afternoon News」

放送日時： 2020年10月10日(土) 17時～17時30分

審議番組： 「Daily Planet」

放送日時： 2020年11月1日(月) 22時30分～23時

- 審議委員意見
- ブレーキングの時は、ブレーキング終了後も、映像または、画面下に表示されているテロップにそのまま残しておいてほしいなという気持ちが非常にあった。どちらかに残さないと、ブレーキングニュースというものの在り方に疑問を感じてしまう。
- ブレーキングの時は、画面下のテロップで流す内容も緊急事態というような形にして、今見た人にも伝わる形にしないと継続性がないと感じた。
- 三宅島の大雨特別警報の発令のブレーキングニュースを危機感をもって見ていたら、突然のんびりしたニュースに切り替わり、自分の頭の中で繋ぎ合わせるのがとても大変な思いがした。
- 特別警報の1～5段階まである仕組みの説明により、三宅・御蔵島に出されたレベル5が大変な災害だというのが非常によくわかった。ブレーキングで大雨特別警報のことを扱っているにもかかわらず、画面下のテロップが芸能ニュースであったため、非常に違和感があり、もう少し内容をリンクさせた方がよいと思った。
- こうした速報を機敏に入れられるというのは、日テレNEWS24の特徴であり評価できると感じた。ただ、ブレーキングニュースの入れ方・戻し方が少し乱暴だなという気がした。通常のニュースが急に途切れて、ブレーキングが急に入り、ブレーキング終了後は、途切れた時と異なるニュースが、ニュースの途中から始まった。システムによるものだと思うが、ブレーキングに切り替えるにしても、放送中の通常ニュースが終わったタイミングで切り替えられないものなのか。
- (メインの画面の他に、)画面左側には天気や時刻が表示され、画面下にはテロップが入っており、見づらく感じた。視聴者がボタンを押せば表示が消えるというような機能があると、画面構成に関する視聴者の要望に応えられるのでは。
- 時刻の表記が24時間表記であれば、と感じた。
- 大雨警報で詳細の地名(横浜市、川崎市、大和郡山市など)は出るものの、県名の表

記がなく、地理に詳しい人なら問題ないのであろうが、大和郡山とはどこかと思い、少し不親切ではないかと思った。

- 11月1日のニュースで”お寺おやつクラブ”というものがあつた。愛知県の林昌寺というところを紹介しており、お供え物を回収して貧困家庭に配布する内容であつたが、こうしたほのぼのとした社会の一面を見せてくれるような、いい話を発掘するというのはニュース番組としても必要ではないかという気がした。
- 三宅島の大雨特別警報の発令のブレーキングを見て、”日テレ NEWS24”がやはり災害に力を入れているのが非常によくわかつた。様々な考え方があるかと思うが、災害発生時、大きくなくても必ず速報を入れるというのは私は大事なことだと思っているので、非常に入れ方がいいなと思った。
- 画面真ん中のニュースと下のテロップのニュースの分け方はどういう風になっているのか、また表現の仕方をどのような基準で決めているのか、以前より少し気になっていた。画面下のテロップによる文字ニュースの方はエンタメに力を入れているようで、それはそれでよいが、画面真ん中と下のテロップの違いによる違和感が時々あるのでその辺はどうされているのかなと思った。
- 事業者発言
- 生放送でなく、30分尺のVTRを流す番組内でブレーキングニュースを入れる場合、スタジオでの生放送に切り替えてブレーキングニュースを伝え、ブレーキングニュースが終わるとスタジオからの生放送を終了し、VTRが流れている方に戻るという運用を行っている。ほぼ皆様から違和感があるのご指摘いただいたので、その点に関しては番組内に持ち帰りどういう対応があるのか、どういうやり方があるのか、改めて検討させていただきよいご意見を頂戴したと思っている。
- テロップでは、ある一定のローテーションで自動的に文字を流しており、画面の方では常に新しいニュースを流しているというように、それぞれが別々に動いており、システム上リンクしておらず、マッチングさせるという仕組みになっていない。技術的な仕組みに関わることなので、現状すぐに対応することは難しい状況であるが、今後検討させていただき貴重な材料をいただいたと考えている。
- なお、テロップのニュースは、ニュース原稿を文字に変えて、それを順繰りに、常に更新しているという形である。よって、何かをピックアップして流しているような形にはなっていない。